

0 協和組合結成準備

然るに刷新派は未だ満足せざるものあり（例へば會名、幹部の刷新等の如き）且つ亦之を以て徹底的妥協的更生なりとし尚ほ日本主義労働運動に共鳴したる組合員はもとより組合員に非らざる製鐵従業員中、單なる鐵廠の看板並り替へるのみにては直ちに参加するを喜ばず、かゝる状態の下に於て刷新派は更に徹底的に日本主義労働運動の旗幟を明らかにするが爲め組合組織運動中にして其の名稱を製鐵所協和組合と稱し且下組合員を糾合し既に三百余の参加者を得尙多數申込を受けつゝあり、近く總會式を挙行して進進する意趣である。尤も其の綱領は鐵廠の新綱領と同様であり且つ自分の間は鐵廠支持組合として進むことになつてゐるが其の眞相は、鐵廠以外更に新組合を結成することとは即ち幾多の組合が樹立することになり従つて従業員を刺戟し軋轉を加ふるの結果となるを恐るゝ製鐵所當局の事勿れ主義

5に因るものと推察せらるゝのである。

d 参考事項

- 1 共同研究會時代の主義綱領
- 2 昭和五年一月鐵廠への改組綱領
- 3 刷新派の要求したる綱領
- 4 同刷新派の提案したる宣言草案
- 5 製鐵所協和組合申込書（即綱領）